

新年度予算 ピックアップ

予算は、市が1年間に使うお金の単なる目安ではありません。限られた財源の中で、市民の皆さんの願いをまとめ、検討を重ねて編成されています。

新年度では、新しい事業や拡充された制度がたくさんあります。その取り組みについて、分野ごとに主なものを紹介します。



● 予算の編成過程を公開中です

市ホームページ(広報ID 1008985)、市役所1階市民コーナー、各支所で閲覧できます

福祉・保健 ~やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまちをめざして~

● 安全安心快適なまちづくり事業 230万円

民間施設のバリアフリー改修や子育て環境改修に対する助成のほか、ユニバーサルデザインタクシー購入に対して助成します。

● 児童福祉施設整備費助成事業 2億4,000万円

高山南保育園増築および本母保育園新築に対して助成します。

● 高齢者等住宅改造助成事業 1億3,288万円

高齢者が居住する住宅のバリアフリー改修に対して助成などを行います。

● 介護人材確保事業 500万円

介護ロボットの導入に対する助成などを行います。

● こころの健康支援事業 47万円

メンタルヘルスチェックの実施や自殺対策計画を策定します。

● 障がい者生活支援事業 3,332万円

人工透析療養者への通院費助成や在宅障がい者への交通費助成のほか、難病療養者の通院費助成などを行います。

● 放課後児童健全育成事業 1億6,704万円

放課後児童クラブ(19クラブ)の運営のほか、支援員の処遇改善に対する助成を行います。

● 健康づくり推進事業 1,622万円

健康ポイント事業や眠育・食育講座、水中歩行運動などを行います。

● 母子保健事業 1億2,986万円

母子保健手帳交付から3歳児に至るまでの母子保健活動(産後健診の実施)や妊婦栄養支援事業(助成期間の拡大)などを行います。

● 保育サービス充実事業 2,710万円

市総合福祉センター内での夜間保育の実施のほか、公立保育園の全保育室へのエアコン設置を行います。

● 子育て住環境整備事業 4,000万円

子育て家庭の多世代同居に対する助成の要件を緩和します。

● 国民健康保険事業 101億350万円

制度改正による国民健康保険の都道府県単位化への対応のほか、各種保険給付や直営診療所の運営を行います。

● 医療確保等支援事業 1億6,458万円

医師確保をはじめ、放射線治療の教育研究やデニバーへの研修医派遣に対する助成などを行います。

